

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール (グループホーム沼木敬寿園 さわやか)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ユニットに理念を掲示し職員間で共有している。理念を元に毎年目標設定をし取り組んでいるが、コロナ感染や人員不足等で十分な実践とまではいく事が出来なかった。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コロナ禍のため外出の機会は少なかったものの、ボランティアや介護相談員の受け入れ、家族も参加しての祭り等、少しずつ地域交流の機会は増えてきている。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の防災訓練などに参加していただいたり、又、更に関係を深めるため、お互いどのような助けあいができるか、又、具体的スムーズに実行できるか等を話していきたい。 ・新型コロナウイルスの感染、5類への移行とやや規制が緩和されてきたがまだ油断はできない。状況を見ながら門戸を広げるしかない。 ・地域の一斉清掃に協力していただいた。 ・グループホームにおける会話の中に、地域の話題等を取り入れ距離を縮める努力が認められます。 ・コロナ禍のため、地域との直接的な関わりを持つことは難しかったと思われるが、グループホーム内の生活や活動状況を公開情報として広報しようとしている努力が見える。 ・コロナの他にも感染予防に十分留意し実施して頂けたらと思います。 ・感染対策しながらの交流は、大変なこともあると思いますが、できる範囲で継続、増加していければと思います。 ・沼木敬寿園まつりに参加させていただきましたが、地域のボランティア団体の方がお祭りを盛り上げて下さっていて、このような取り組みが地域の方の理解に繋がっていくので、大変いいことだと思います。 ・家族参加のイベント交流もこれからもお願いしたいです。 		

3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・運営推進会議での内容は書類にてユニット内で閲覧している。頂いた意見を元に話し合い・改善を行いサービスの向上に繋げている。	・定期的に開催していただき、資料などもこまめに提出してくれて、理解しやすく充分できていると思います。 ・運営推進会議で詳細な報告があるため、概ね評価できる。 ・会議に出席して、問題点の改善について取り組まれている。 ・情報の共有の徹底が感じられます。 ・事故やトラブルについて、隠すことなく状況を報告しており好感が持てる。ぜひ、類似事例がなくなるように、根本、原因に対策まで深掘していただきたい。 ・サービス向上につながるために、常に改善されているんですね。ありがとうございます。 ・自己評価がほぼできているということなので、これを継続していただきたいと思います。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・市町村や地域包括センターなどの研修に参加している。主に代表として管理者が連絡を取り、必要な情報は随時ユニットへ伝えている。	・充分に取り組まれています。 ・運営推進会議で詳細な報告があるため、概ね評価できる。 ・必要な情報を迅速に、スピード感をもって伝達、共有していることが確認できます。 ・地域包括支援センターとの関わりの一部以外については不明なのでコメントできない。 ・情報共有がしっかりされている様子が伺えます。 ・お忙しい中、包括の事業に対し、ご協力、参加等いつもありがとうございます。 ・市町村や地域包括支援センターとの情報交換は、今後ますます重要になってくると思われるので、高評価は、事業所の意識の高さが伺えました。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・全ての職員に対し研修を行い学びを深めると共に、毎月資料の配布とポスターを掲示し身体拘束を行わないケアへの意識を高めている。		A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・スピーチロックやドラッグロックも含めた身体的拘束についても研修を行い、身体の拘束及び精神面での拘束も行わないよう、職場全体で意識を高める。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されるこ	A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・委員会にてユニットの現状を報告し、不適切ケアについて他部署から意見をもらい取り組んでいる。ユニッ		A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・現在のケアについて、定期的にユニット及び多職種を交えた委員会にて振り返りの場を持ち、不適切ケアへのリスクやより良いケアへの意見交換を行い取

		とがないよう注意を払い、防止に努めている		ト内でも声掛けを行いながら虐待・不適切ケアの防止に努めている。			り組んでいく。又、定期的にアンケートを行うなどして現状を把握し、改善すべき所は早急に話し合いを行う。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・学ぶ機会は定期的にあるが利用の機会がない為、制度の詳細までは熟知できていない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・契約前に十分な説明と入居者・家族の意向を確認し、同意を得た上で入居に至っている。疑問に対してもその都度直接説明を行う場を設け対応している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者や家族の意見に耳を傾け運営に反映するよう努めている。玄関先に意見箱を設置している他、第三者窓口も設けている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		・現在行っている電話や面会時の近況報告の他、家族の都合が合うようであれば改めて対面でご意見を頂く機会を設けていく。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・年に2回施設長・上長との面会の機会がある。又、施設内アンケートを実施し、それを元に改善に努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・慢性的な人員不足や給与水準等、十分な環境整備ができていないと言いきれないが、向上に努めていると思われる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		・施設内の取り組みとして改善している項目、法人として給与面など環境を整える体制をとっている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ほぼ毎月内部研修を実施する等学びの機会を多く設けている。外部研修の際は参加しやすいように勤務調整を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		・法人内研修、内部研修と学びの場となる機会は多く設けられている。また、外部研修についても参加希望者を募りながら受講し、自己啓発に努めている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・相互訪問や実際の交流の機会は少なかつたものの少しずつ集合研修の機会は増えており、そこで情報交換やネットワーク作りを行っている。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者の意思を尊重した支援に努めている。日々の生活の中で出来る事を手伝って頂いたり、好きな事を一緒にやる機会がある。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・対面での面会が可能となり、遠方の親族等とも面会を楽しんで頂いている。又、感染症の状況をみながら家族と外出の機会も設けている。	・難しい状況の中、うまくやりくりされ、関係が途切れないように努力されていると感じます。 ・「なじみの人」の判断は、施設としてどのように関わりなのか知りたい。 ・コロナ禍により、家族との絆が断絶の日々が続きましたが、その間の配慮、支援があったことが重要だと思います。 ・家族との外出も可能なんですね。ご本人にとっては嬉しいですね。素敵な取り組みだと思います。 ・以前よりも外出、面会の機会が増えて、利用者の心の安定に繋がり、より落ち着いて生活できるようになりました。 ・遠方の方と久しぶりの面会もでき元気に生活している姿を見て安心していました。配慮に感謝します。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日々の会話の中で入居者の意向を聞いたり、普段の様子や家族からの話から想いを汲み取り支援に繋げている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者・家族の希望を伺った上で多職種と意見を出し合いながら計画を作成している。又、月に1回モニタリングを行い、現状に即したものであるか見直しを行っている。	・定期的な会議の報告の中で、随所で見られ感心しています。 ・入居者本人の生活は当然であるが、入居者同士の関係をどのように観察するか難しい点があると思う。 ・入居者を取り巻く家族、関係職員などの声が反映され、モニタリングなどの実施が入居者の居心地の良さにつながっているのではないかと。 ・利用者さんのことを第一に考えられていると感じます。 ・介護計画に基づいたサービスの提供が周知されていて安心できます。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者のこれまでの暮らしや入居するにあたっての経緯を踏まえ、課題とケアのあり方に関係者と話し合い、介護計画を作成する。又、その後生活していく上で出てきた新たなニーズを再度関係者と話し合いながら、より良いサービスの向上へと繋げる。

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・日々の気づきをケースに残し、必要時は申し送りノートや口頭にて連絡を行ったり、ユニット会議にて話し合ったりしながら情報の共有・計画の見直しを行っている。</p>	/	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・入居者との日頃の関わりを密に取りながら情報を集め、又、職員間のコミュニケーションも円滑にし実践や介護計画に活かしていく。</p>
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・ニーズに対しては職員間で話し合い対応できるよう取り組んでいるが、人員不足等で全てのニーズに応えられなかったり、柔軟さに欠けてしまう部分がある。</p>	<p>・あまり良くない報告、評価はしたくないのですが、自らあからさまに出しているところは、今後、改善されていくものと思います。</p> <p>・入居者の様々な、そして時折々のニーズに対しての対応は難しいが、グループホーム外の人で対応する方法も検討するべきだと思う。</p> <p>・入居者やその家族のニーズにすべて答えるのは困難だと思われる。</p> <p>しかし、傾聴は大事だと思う。</p> <p>・入居者各々に対して、最適で十分な対応を行うことは、かなり苦労が多いと考えられる。継続的な改善活動としてお願いします。</p> <p>・限られた職員数での対応はなかなか厳しいと思います。無理なく行って頂ければと思います。</p> <p>・全てのニーズに応えるのは、なかなか難しいと思われるので、満足していただけるような話し掛けをしていただければいいのかなと思います。</p> <p>・個人のニーズに合った生活スタイルに常に答えてくださりありがたいです。</p>	/	/
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・訪問内容やボランティアの方等との交流を楽しむ機会はあるも、交流の機会は少なく、又、一人ひとりの地域資源の把握も不十分な現状。</p>	<p>・あまり良くない報告、評価はしたくないのですが、自らあからさまに出しているところは、今後、改善されていくものと思います。</p> <p>・コロナウィルス5類移行とはいえ、まだ難しい点があると思う。運営推進会議の議題にしてはどうだろうか。</p> <p>・地域資源については、多くの要素があるため、フォーカスしての議論が必要ではないかと思います。</p> <p>・個別的な対応については、上記6項と同様にかなり工夫を要することと思われます。</p> <p>・もともと地元の人と、地域外からの人が入居されているのでは、地域への思いも違うと思いますので仕方ないと思います。</p>	/	/

				<p>・地域資源についての情報提供で、生活支援コーディネーターと連携しながら協力できればと思います。</p> <p>・地域資源の具体的な内容がよくわからないのですが、地域で活動し協力いただける方々に、ビデオレターのような形で話し掛けてもらえるような企画もありかなと思います。</p>			
21	かかりつけ医の受診支援	<p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・本人・家族より医療に対する希望を聞いた上で希望に沿った受診先を選択してもらっている。各医療機関と連携をとりながら入居者の健康を支えている。</p>			
22	入退院時の医療機関との協働	<p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・入院の際は医療連携室と相談しながら安心できる治療と早期の退院に努めている。又、退院後も医療機関を始め多職種と連携をとりながら健康管理を行っている。</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・入院の際は医療連携室とこまめに連絡を取りながら、状況に合わせ環境の整備が必要かななどを考えていく。退院後も必要な医療機関への通院及び訪問診療を手配し健康管理に努めいく。</p>	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・契約時に終末期のあり方について説明し意向を伺い、状態に変化があればその時の意向に沿いながら支援に取り組んでいる。しかし、主に家族の意向となってしまう、本人の意向の確認が難しいのが現状。</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・心身面での変化があった際は、本人・家族より医療面での希望や生活する上での不安・想いを聞き、地域の関係者や多職種と協力しながらチームとして支援を行っていく。</p>	
24	急変や事故発生時の備え	<p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・AED心肺蘇生法や急変時の対応の研修を全職員受講し備えている。急変時のマニュアルもその事業所に合わせて定期的に見直している。</p>			
25	災害対策	<p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p><input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・委員会を中心として定期的に防災訓練を行っている。又、内容も日中帯と夜間帯、火災や水害と様々な場面を想定して行われている。</p>	<p>・もっともっと協力し合い、深めていきたいと思えます。</p> <p>・我が身に降りかかることであるため、訓練を繰り返すしかない。その前に職員が熟知。</p> <p>・町内会でも、災害時の敬寿園との連携の仕組みを知りました。</p> <p>・現在の日本は多くの自然災害に見舞われるため、十分に準備ができているとはすばらしいと思えます。</p>	<p>A. 充分にできている</p> <p><input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	<p>・定期的な避難訓練の他、ユニット内でも入居者の状況や施設の環境から考えられる有事の際の課題や避難の手順を話し合ったり、防災・減災についても考えていく。又、町内会や有識者を交えた避難訓練を実施していく。</p>

					<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍も少し落ち着いてきたので、今後、防災計画の詳細の紹介及び実際の防災訓練のオブザーバーとして参加をお願いしたい。 ・利用者の方も安心してと思います。 ・様々な場面を想定しながら、定期的に訓練していることは、素晴らしいと思います。 ・定期的な防災訓練を実施していただき安心していきます。今後とも継続していただきたいです。 ・災害はいつ起こるかわからないことを考えると、今の体力を維持し自力で歩いて避難できるように支援してほしい。 		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	一人ひとりを尊重し、丁寧な言葉かけや対応を心掛けている。又、プライバシーが確保できるよう、個別での支援を行うようにしている。		<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	入居者の尊厳を大切にしながら支援にあたるために、接遇マナーや認知症に関する研修を実施し、専門性を高めていく。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	職員不足やコロナの影響もあり突発的な意向に沿えない場合が多かった。しかし日々の暮らしはどこでどのように過ごすかはご本人のペースを大切にしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	主におしぼり準備や後片付け・お菓子作り等を行って頂いている。しかし心身の状態の違いから一部の入居者に偏ってしまう傾向がある。		<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	毎日の食事準備や後片付けを入居者と一緒に行う事で、会話を楽しむ機会や活動の獲得に繋げていく。又、その他に食べたい物などの希望を取り入れた行事も計画していく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	その方に合った支援ができるようユニット会議にて話し合っている。又、毎月管理栄養士によるミールラウンドがあり、状態を確認してもらい支援の方法を相談している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	毎食後、口腔ケアの声がけや、出来ない所の支援を行っている。又、必要時には歯科衛生士より口腔状態をみてもらいアドバイスをもらっている。		<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	口腔衛生の大切さを研修等で周知し又、口腔ケアのポイントなどを歯科衛生士よりアドバイスをもらいながら、入居者一人ひとりにあった口腔ケアを実施していく。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・排泄パターンを把握し本人の意志とタイミングに合わせ必要な部分を個々に支援している。なるべくご自分の下着で過ごす頂けるよう、パッド類の使用はよく検討した上でやっている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・自尊心やプライバシーに配慮しながら一人ひとりに合わせた方法で排泄を支援し、生活習慣を見直ししながら、なるべく服薬に頼らずに便秘を防止していく。又、使用している排泄用品に関しても適宜見直しを行っていく。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・職員の配置からある程度の変更は可能だが時間帯はほぼ決まっている。曜日は決めておらず希望があった際に入浴を行ったり、間隔を見てこちらから声掛けを行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・ご本人のタイミングに任せて休んで頂いている。夜間は眠剤に頼らず良眠して頂けるよう、日中の活動参加も様子をみながら促している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・薬については処方後内容について全職員目を通し確認している。体調等に变化があった際はケースに記録し、必要があれば医師・看護師・上司へ確認し対応している。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・通院や訪問診療の際に医師へ情報提供し指示をおおぎながら服薬の支援を行っていく。服薬前と後の変化についても注意し、職員間で情報を共有する。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・一人ひとりの好みや得意・不得意な事をアセスメントし、その方に合った役割活動や気分転換の場を設けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・良く考えていただいていると思います。 ・入居者ひとり一人が尊重されていると感じます。 ・グループホームでの活動内容・役割り活動の写真をみると、楽しそうな様子がわかり支援がうまくいっているようで好感が持てる。 ・ご本人にとって寄り添ってもらえている感じがして、とても良いと思います。 ・自宅に1人である時は横になっている時が多かったが、役割活動を積極的に取り組める声がけをしていただき感謝しています。 		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・感染症やその日の職員の人数により希望に沿った柔軟な外出は難しかった。しかし状況をみながら家族と外出したり施設周辺を散歩したりと、出来るだけ外出できるよう取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・時節柄とても難しかったと思います。その中でもやれる範囲で良くやっていたと思っています。 ・感染症、職員数、そして季節と要因が多い。入居者、家族の意見を聞きたい。 ・自然災害、感染症などこれからも多くの困難事例が起きた時のための、シミュレーションなど日頃の取り組み、話し合いが大切だと思います。 		

				<ul style="list-style-type: none"> ・外出は良い刺激にもなりますので積極的に取り入れて頂きたいですが、難しい状況にあることも理解しています。 ・大変な状況でも、諦めずできることに取り組んでいることは素晴らしいと思います。 ・家族との外出が通院以外どこでも可能であれば、本人の体調と意志を確認しながら、希望するところに連れて行きたいと思っています。 		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない 	・立替金制度のため施設の方で金銭の管理をしている。購入の希望があった際は家族に確認後購入を行っている。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	・本人より希望は聞かれないが年賀状を出したり、家族から電話があった際に会話して頂いている。又、様子をみながらこちらから電話の提案をしたり支援している。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	・一人ひとりの身体機能に合わせ、安全に生活を送って頂けるよう動線を見直し設えの変更をしている。又、居心地よく過ごして頂けるよう、希望に沿った食席の配置や季節ごと飾り付けをしたり、クッション等私物を共有スペースに持ってきて頂いている。	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	・混乱を避けるためにトイレや居室に案内板を掲示したり、普段の生活の動線の危険箇所を随時確認し、安全に生活して頂けるようにする。又、気の合う他入居者と過ごせるような食席の配置や、共有スペースで読書をしたり塗り絵をしたりと自分の意思で好きな事をして頂けるような環境を作っていく。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	・意向の確認が難しい方や全ての希望に沿う事が困難な現状だが、その日の過ごし方はご本人に決めて頂き、一律のケアにならないよう努めている。		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない 	・本人・家族・友人等、様々な関係者から情報を頂き、職員間で共有しながら日々の生活を支援する中で活かしている。		

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・医師・看護師・管理栄養士・リハビリ専門職等、多職種が協力し多方面から入居者を支えられる体制作りができている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・看護師の巡視やミールラウンド、リハビリ専門職及び歯科衛生士の訪問等、各専門職が定期的に巡回し、本人の状況から必要なケアを提案し、多角的な視点から生活を支えていく。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・入居者それぞれが自分に合ったペースで生活されている。又、日々の関わりにてこれまでの暮らしの把握に努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・ご自宅で愛用した物や馴染みの家具などを置いたり、写真を食席で眺めて頂いたり等、ご本人が落ち着く環境作りを行っている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・本人が使い慣れた物や大切にしている物を身の回りに置く事で、今までの生活の継続や心の安らぎに繋げていく。
45	生活の継続性	本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・コロナ禍のため、その時々々の希望に沿う事は難しいが状況をみながら検討している。又、施設でドライブや季節の行事を企画し、外出や催し物を楽しんで頂いている。</p> <p>・季節柄とても難しかったと思います。その中でもやれる範囲で良くやっていただいていると思います。</p> <p>・感染症、職員数、そして季節と要因が多い。入居者、家族の意見を聞きたい。</p> <p>・コロナ禍の中の職員の方々への配慮、支援は大変だったと思います。</p> <p>・季節の行事があるのは季節を感じることができるのでとても良いと思います。</p> <p>・施設のドライブや季節への行事に参加させていただき、満足しているようなので、今後も継続していただきたいです。</p> <p>・コロナ禍も落ち着いてきており、季節ごとの外出行事を企画してほしいです。</p>			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・その方が出来る、その方に合った役割活動を行って頂いている。レク活動も画一的でなくその方の好みに合ったものを提供している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・親しい方との会話を楽しむ場や、役割活動を自分の仕事として積極的に行う場等、いきいきと過ごすひとときを大切にし、見守ったり環境を整えたりと支援している。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・一日の中で、役割活動に参加したり余暇時間に他者と交流したり、趣味活動を行ったりと本人が生き生きと過ごす場面を見守ったり、又はこちらから提案したりし、やりがいや楽しみ事の支援を行う。

48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々関わったり、交流することができる</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・コロナ禍のため本人の意志で地域に向く事は難しいが、介護相談員やボランティア・訪問理容等が来園された際に交流を楽しんで頂いている。</p>	<p>・地域の文化祭に出展、来訪と積極的にとらえていただいていると思います。来年は音楽祭も是非お出でください。 ・感染症、職員数、そして季節と要因が多い。入居者、家族の意見を聞きたい。現状でのボランティアはどのようなものか知りたい。 ・入居者本人が少しずつ交流を楽しめていることが一歩だと思います。 ・ご本人の出来る事、得意な事を披露できる機会があればいいと思います。 ・もともと、人との関わりが得意ではないため、介護員の方々から声掛けてもらって交流するくらいでいいようです。近くの保育園や幼稚園の子供たちの訪問も利用者の方には喜ばれると思います。</p>		
49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・入居している事を理解されている方は意向を教えて下さり希望に沿う事で安心したより良い生活を送って頂いているご様子。今の現状が理解できず不安を訴えられる方もいるが、その際は職員が寄り添い会話をする事で安心されている様子が伺える。昨年度よりも家族や地域との交流の機会が増え、生活の中の楽しみ事も増えたご様子。</p>	<p>・問題点などを共有され皆様で気持ちを一つにされ努力されていると思います。 ・三者の話し合いが大事だと思う。 ・すべて満足な支援は難しいと思われま。傾聴し寄り添いの姿勢が大事だと思います。 ・認知症の方の状況は、特に個人によって全く別の対応が必要になってくると考えられるが、限られた人員で効率的に行うことは困難が多いと思います。継続的な改善活動を粘り強くお願いします。 ・利用者おひとりおひとりに寄り添って頂いているのが感じられます。 ・1人1人の心身状況に合わせて対応され、利用者さんの安心や楽しみの確保に務めている様子が伺えました。ありがとうございます。 ・だいぶ GH の生活に慣れてきていて、不安を訴えた時でも介護員の方が寄り添って下さるので、本人も落ち着けるようですし、家族も安心しています。</p>	<p>A. 充分にできている B. ②ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・グループホームに入居してからも、これまでの暮らし方や馴染みの人との交流の機会が途切れないよう、本人の希望を伺いながら支援を行っていく。それに加え、グループホームでの役割活動や催し物、これからご本人と関わる人との触れ合いなど、新たな楽しみ事の獲得にも目を向け取り組んでいく。地域との交流も、訪問理容やボランティアの受け入れなど施設に来て頂いた際に楽しんで頂く他、今後は本人から地域に向向いて交流を行えるような機会を作っていく。</p>

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	・通院以外はほぼ毎日ユニット内での生活となっており日常に変化がなく刺激が乏しい。 ・人事異動及び感染症の蔓延による職員不足や、業務が立て込み余暇活動の時間を十分に取れなかった事により、短時間の散歩の機会も殆ど行う事が出来なかった。	・職員一人ひとりが外出支援の重要性を再確認し、入居者の希望や状態、天候、感染症の状況を確認しながら外出や戸外への散歩を支援する。	・入居者の希望や状態、屋外の状況を確認し、個別や少人数でもドライブや散歩が出来るよう、シフト調整や職員間で声掛けし連携を図る。又、業務を見直し効率化を図り、余暇活動の時間を確保する。 ・感染症の状況をみながらではあるが、家族にも協力してもらいながら外出を支援する。	12ヶ月
2	16	・ご家族から頂いたこれまでの暮らし方の情報を元にグループホームでもご本人のペースで過ごして頂いているが、ほぼ決まったルーティンとなってしまう新たな希望や今感じている思いなどを把握しきれしていない。	・これまでの暮らしも大切にしつつ、これからどう過ごしたいか、現在のご本人の想いを引出し支援に繋げていく。	・入居者との会話の時間を増やす。又、話の傾聴・共感といったコミュニケーションの基礎を再度意識し信頼関係を深め、安心して想いを話して頂けるようにする。 ・会話が困難な方は一緒に活動する中でその時々表情や仕草などから想いを汲み取り職員間で共有し支援する。	12ヶ月
3	28	・お絞り準備や食器拭きは一部の入居者へ偏りがあるものの手伝いをお願いし行っているが、調理や盛り付けなどは入居者の心身の状態の関係や時間に追われてしまい一緒に行う事があまり出来ていない。	・食事作りや盛り付け、後片付け等、入居者も一緒に行いながら、食事を楽しんだり活動性の向上・やりがいへと繋げる。	・入居者のADLや得意な事・不得意な事を把握し、入居者に合った役割活動の場を提供する。 ・その日の心身の状態をみながら危険を予測した上で料理に参加して頂く。立位が難しいようであれば座ってして頂くなど、参加できるようにやり方を工夫して支援する。	12ヶ月
4	34	・服薬支援において、使用している薬の目的や副作用などは薬情を閲覧し把握しているが、業務に追われ流れ作業となってしまう、セットミスなど実際に事故へ繋がっている。	・薬のセットミス、服薬支援の事故をゼロにする。	・薬のセット時・ダブルチェック時・配薬時など、各工程で日付と名前をしっかりと声に出して確認し、本人確認も怠らない事を徹底する。 ・声出し確認ができていないか、職員同士でもチェックしたり、セットミスが多いため、薬のセット時はセットに集中できるように職員間で協力する。	12ヶ月
5	6	・不適切ケアについて研修を通し学びを深め意識はしているものの、状況によっては上手く対応できない時があったり、対応についてユニット内で話し合っているが、それが本当に適切かどうかは迷いがある。	・現在のケアで満足する事なく振り返りながら、不適切ケアの防止、サービスの質の向上へと繋げる。	・職員間のコミュニケーションの機会を増やし、ケアでの悩みや失敗談・気づきを話し合える環境を作る。 ・ユニットで抱える問題を委員会や多職種へ相談し助言をもらったり、他者から見たユニットの印象を伺いながら風通しのよい職場を作る。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール (グループホーム沼木敬寿園 なごやか)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	理念や、ユニット目標など、目に見える場所や会議前に唱和することで意識づけを行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍であるため、地域との直接的交流はないが、地域の理容室を利用させてもらい、日常会話を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の防災訓練などに参加していただいたり、又、更に関係を深めるため、お互いどのような助けあいができるか、又、具体的スムーズに実行できるか等を話していきたい。 ・新型コロナウイルスの感染、5類への移行とやや規制が緩和されてきたがまだ油断はできない。状況を見ながら門戸を広げるしかない。 ・地域の一斉清掃に協力していただいた。 ・グループホームにおける会話の中に、地域の話題等を取り入れ距離を縮める努力が認められます。 ・コロナ禍のため、地域との直接的な関わりを持つことは難しかったと思われるが、グループホーム内の生活や活動状況を公開情報として広報しようとしている努力が見える。 ・コロナの他にも感染予防に十分留意し実施して頂けたらと思います。 ・感染対策しながらの交流は、大変なこともあると思いますが、できる範囲で継続、増加していければと思います。 ・沼木敬寿園まつりに参加させていただきましたが、地域のボランティア団体の方がお祭りを盛り上げて下さっていて、このような取り組みが地域の方の理解に繋がっていくので、大変いいことだと思います。 ・家族参加のイベント交流もこれからもお願いしたいです。 		

3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>運営推進会議での意見などは文書を回覧し共有している。事業所の取り組みや活動報告(研修・行事、事故報告など)を行い、意見や要望をだしていただき、サービスの向上に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に開催していただき、資料などもこまめに提出してくれて、理解しやすく充分できていると思います。 ・運営推進会議で詳細な報告があるため、概ね評価できる。 ・会議に出席して、問題点の改善について取り組まれている。 ・情報の共有の徹底が感じられます。 ・事故やトラブルについて、隠すことなく状況を報告しており好感が持てる。ぜひ、類似事例がなくなるように、根本、原因に対策まで深掘していただきたい。 ・サービス向上につながるために、常に改善されているのですね。ありがとうございます。 ・自己評価がほぼできているということなので、これを継続していただきたいと思います。 		
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>市町村、地域包括支援センターなどの研修に参加し、事業所の実情を伝え、周りの事業所の取り組みなど参考にしている。市町村の活動に積極的に参加している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・充分に取り組まれています。 ・運営推進会議で詳細な報告があるため、概ね評価できる。 ・必要な情報を迅速に、スピード感をもって伝達、共有していることが確認できます。 ・地域包括支援センターとの関わりの一部以外については不明なのでコメントできない。 ・情報共有がしっかりされている様子が伺えます。 ・お忙しい中、包括の事業に対し、ご協力、参加等いつもありがとうございます。 ・市町村や地域包括支援センターとの情報交換は、今後ますます重要になってくると思われるので、高評価は、事業所の意識の高さが伺えました。 		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>年に2回の内部研修を行い、理解を深めている。毎月の身体拘束、虐待に関する資料をおたよりとして提示している。自己点検シートにて振り返りを定期的に行い、不適切ケアなどにつながらないように取り組んでいる。</p>		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・研修、委員会を通じ、自己点検、ユニットで振り返りながら、ケアに疑問に感じる点なども吸い上げながら、対応方法を検討し支援している。また、法令遵守の意識を持ち支援にあたっている。

				玄関の施錠に関して、夜間帯のみ 防犯面や安全面を考慮した上で行 っている。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めて いる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回の研修、認知症研修に 積極的に参加し、認知症の理解を 深め関わっている。不適切ケアに ついて職員で話し合い意識を高め ている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・現在のケアについて、ユニット、委員会にて振り 返りの場を持ち、不適切ケア、虐待につながら ないように点検を行いながら、より良いケアへの意見 交換を行い取り組んでいく。定期的にアンケートを 行うなどして現状を把握し、早急に改善する取り組 みを行う。
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事 業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合 い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制度の詳細までは熟知されてい ないが、研修などにより資料を配 布し学んでいる。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図ってい る	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に加算や利用料金、改定 時の説明について随時行ってい る。不安や疑問があれば問い合わせ いいただき、直接詳細について説 明する対応をとっている。			
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から入居者の話を傾聴して いる。ご家族には面会時や電話に て話を伺いながら反映できている。 意見、要望などユニットで共有して いる。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・電話や面会時の近況報告を行っている。来園 時、近況報告のみにならないように、ご家族と話が できやすい雰囲気や、希望があった際は速やかな 対応を心がけている。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設長、上長との面談を通じ意 見を言える場がある。また、法人内 のアンケート実施などで改善に努 めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や 実績、勤務状況を把握し、給与水準、労 働時間、やりがいなど、各自が向上心 を持って働けるよう職場環境・条件の整備 に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回の人事考課、職員のモ チベーション向上のため、それぞれ 目標を設定しながら達成感が感じ られるよう取り組める環境をつつ ている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・施設内の取り組みとして改善している項目、法人 として給与面など環境を整える体制をとっている。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員のレベルにあった研修、スキルアップのための研修などに積極的に参加できるような体制をついている。内部研修に参加できなかった方に対して資料や動画を活用し、報告書でまとめ学びを深めている。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・施設内の取り組みとして改善している項目、法人として給与面など環境を整える体制をとっている。・法人内研修、内部研修と学びの場となる機会は多く設けられている。また、外部研修についても参加希望者を募りながら受講し、自己啓発に努めている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域ネットワーク、GH協会主催のリモート研修などに随時参加されているが、全員参加ができないため、特定の職員のみになっている。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者のできること、できないこと、支援してほしいことについて、職員側の都合にならないよう見極めながら対応をとり、関係性構築に努めている。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>コロナ禍のなかで、ご家族とは電話、面会などなるべく顔をみてもらえるよう配慮している。また、活動の様子など毎月活動の様子を写真のおたよりで、ご家族へお伝えしている。</p> <p>・難しい状況の中、うまくやりくりされ、関係が途切れないように努力されていると感じます。 ・「なじみの人」の判断は、施設としてどのように関わりなのか知りたい。 ・コロナ禍により、家族との絆が断絶の日々が続きましたが、その間の配慮、支援があったことが重要だと思えます。 ・家族との外出も可能なんですね。ご本人にとっては嬉しいですね。素敵な取り組みだと思います。 ・以前よりも外出、面会の機会が増えて、利用者の心の安定に繋がり、より落ち着いて生活できるようになりました。 ・遠方の方と久しぶりの面会もでき元気に生活している姿を見て安心していました。配慮に感謝します。</p>		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者との日頃の会話、関わりの中で希望や意向について、ケース記録、職員間での情報共有を行い把握に努めている。		

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の関わりや、月に1回のモニタリングを各担当者で作成し、現状に合わせた介護計画書を作成している。	・定期的な会議の報告の中で、随所で見られ感心しています。 ・入居者本人の生活は当然であるが、入居者同士の関係をどのように観察するか難しい点があると思う。 ・入居者を取り巻く家族、関係職員などの声が反映され、モニタリングなどの実施が入居者の居心地の良さにつながっているのではないかと感じます。 ・利用者さんのことを第一に考えられていると感じます。 ・介護計画に基づいたサービスの提供が周知されていて安心できます。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者のこれまでの暮らしとなる生活歴や、習慣、性格、こだわりを理解し、ニーズ、課題とケアのあり方をご家族、多職種と話し合い、介護計画を作成し、現状に適したニーズを抽出し、より良いサービスの向上へと繋げる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者との会話、関わりの中で様々な気づきをケース記録、職員間の情報共有を図り、ユニット会議などで検討しながら、現状に適した支援ができるよう努めている。	/	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者との日頃の関わりを密に取りながら、些細な情報でも大切に、職員間で共有し支援に努めたうえで介護計画に活かしていく。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その都度の状況や要望を受けた事に対して対応できるよう努めているが、人手不足もあり、対応が出来ない時がある。絵を描きたいなどの希望がある際は、テラスや畑などに行き絵を描かれる。	・あまり良くない報告、評価はしたくないのですが、自らあからさまに出しているところは、今後、改善されていくものと思います。 ・入居者の様々な、そして時折々のニーズに対しての対応は難しいが、グループホーム外の人で対応する方法も検討するべきだと思う。 ・入居者やその家族のニーズにすべて答えるのは困難だと思う。 しかし、傾聴は大事だと思う。 ・入居者各々に対して、最中で十分な対応を行うことは、かなり苦勞が多いと考えられる。継続的な改善活動としてお願いします。 ・限られた職員数での対応はなかなか厳しいと思います。無理なく行って頂ければと思います。 ・全てのニーズに応えるのは、なかなか難しいと思われるので、満足していただけるような話し掛けをしていただければいいのかなと思います。 ・個人のニーズに合った生活スタイルに常に答えてくださりありがたいです。	/	/

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域活動は回覧を通して把握し職員は参加できるように努めているが、入居者は、参加できていない現状となっている。	<p>・あまり良くない報告、評価はしたくないのですが、自らあからさまに出しているところは、今後、改善されていくものと思います。</p> <p>・コロナウィルス5類移行とはいえ、まだ難しい点があると思う。運営推進会議の議題にしてはどうだろうか。</p> <p>・地域資源については、多くの要素があるため、フォーカスしての議論が必要ではないかと思えます。</p> <p>・個別的な対応については、上記6項と同様になり工夫を要すると思われれます。</p> <p>・もともと地元の人と、地域外からの人が入居されているのでは、地域への思いも違うと思いますので仕方ないと思えます。</p> <p>・地域資源についての情報提供で、生活支援コーディネーターと連携しながら協力ができればと思えます。</p> <p>・地域資源の具体的な内容がよくわからないのですが、地域で活動しご協力いただける方々に、ビデオレターのような形で話し掛けてもらえるような企画もありかなと思えます。</p>		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	かかりつけ医の継続とともに、訪問診療の利用を行いながら、入居者・ご家族の希望に沿った受診先を選択してもらい、適切な医療を受けられるよう支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院や治療が必要な場合、ご家族の希望に沿いながら、連携室などと定期的に連絡をとり、情報共有や、受け入れなドスムーズに行えるよう対応している。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・入院の際は医療連携室とこまめに連絡を取りながら、退院されてからの環境や支援方法を検討している。退院後も継続した医療機関への通院、訪問診療を利用しながら健康管理に留意していく。</p>
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時に説明し、現段階での意向確認を行っている。状態低下した場合、再度ご家族の意向を確認したうえで医療機関、特養などそれぞれの関係者と協力し、入居者の方が日常生活が送れる様支援している。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・入居時、状態変化がともなってしまった際、家族の意向も含め、様々な選択ができるよう多職種と検討しながらチームとして支援を行っている。</p>

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変時対応マニュアルを作成し、AED、心肺蘇生法研修を行っている。医務の指示のもと処置や初期対応が迅速に行えるようにしている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	防災委員会を中心に、火災、地震、水害それぞれの避難訓練を実施し、BCP業務継続計画の理解を深められるよう研修の機会を設けている。	<p>・もっともっと協力し合い、深めていきたいと思いません。</p> <p>・我が身に降りかかることであるため、訓練を繰り返すしかない。その前に職員が熟知。</p> <p>・町内会でも、災害時の敬寿園との連携の仕組みを知りました。</p> <p>・現在の日本は多くの自然災害に見舞われるため、十分に準備ができているとはすばらしいと思えます。</p> <p>・コロナ禍も少し落ち着いてきたので、今後、防災計画の詳細の紹介及び実際の防災訓練のオブザーバーとして参加をお願いしたい。</p> <p>・利用者の方も安心してと思っています。</p> <p>・様々な場面を想定しながら、定期的に訓練していることは、素晴らしいと思います。</p> <p>・定期的な防災訓練を実施していただき安心していきます。今後とも継続していただきたいです。</p> <p>・災害はいつ起こるかわからないことを考えると、今の体力を維持し自力で歩いて避難できるように支援してほしい。</p>	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・定期的な避難訓練、業務継続計画に基づき研修を実施しながら、職員一人ひとりが知識、意識の向上とともに対応力を持てるよう努めている。有事の際、町内会の協力を得られるよう合同の訓練を実施していく。</p>
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の支援において、尊厳を尊重し、プライバシーを損ねない声掛けを行い対応している。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・入居者の尊厳を大切にしながら支援にあたるために、接遇マナー、認知症に関する研修の機会、倫理綱領を意識した関わりを持ち支援に努める。</p>
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの過ごし方を、生活歴、希望に沿い24時間シートなどで把握し、その人らしい生活が送れるよう支援しているが、職員側の都合との兼ね合いが難しい現状もある。			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者のできること(盛り付け、おしぼりつくり、テーブル拭きなど)を役割としながら、職員と一緒に活動を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・食事準備や後片付けを行う事で、会話の機会、入居者の役割の継続、達成感を得られるよう支援に努めている。会話の中で食べたい物などの希望があった際、家族の協力を得ながら、施設内行事として計画していく。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士の献立を中心に、入居者の嚥下状態に合わせた食事形態を提供している。月に1回のミールラウンドにより食事の観察を行いながら、食事形態や食事量を見直し、誤嚥や窒息につながらず安全に食べてもらえるよう支援している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科衛生士の指導のもと、毎食後歯磨きを行っている。口腔内の観察を行いながら、歯科衛生士、訪問診療時など相談している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・本人の生活習慣もあるが、口腔内の衛生を保つ重要性があるため、歯磨きの声掛け、口腔内の観察など歯科衛生士よりアドバイスをもらいながら、入居者一人ひとりにあった口腔ケアを実施していく。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者に合わせたトイレ誘導、パッドの選択を行っている。状態に応じて、パッドの使用をせず誘導のみで失禁を軽減している。また、訪問診療、看護師と相談しながら、本人に合わせて便秘にならないよう支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自尊心を大切に、入居者にあった誘導、排泄物品の使用を検討している。季節や状態変化に伴い、日々対応を検討し支援に努めている。
32	入浴を楽しむこと ができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1週間に2.3回入れるよう支援しているが、本人の入りたい時間(夜)に勤務者が2名の対応ができないため、十分な対応ができていない。入浴の好きな方は、その都度声掛けし多く入られている。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日の気分や体調に合わせて声をかけている。また、本人の希望でその都度休まれている。湿度、温度等は湿度温度計を居室、リビングに設置している。		

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬情など常に見られる所に挟んでおき、その都度確認している。薬の変更などで変化が生じた際、看護師や医師に確認し指示を受けながら支援している。薬のセットから飲み込みまで確認できるよう、チェックリストを活用し、誤薬、服薬忘れ、飲み間違いに注意している。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・通院時の情報、薬情を参考に薬の目的や副作用、用法や用量について確認したうえで、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居前に好みや生活歴など把握したうえで、役割活動やレクリエーションに参加されている。月に1回は全員で参加できる行事・季節感があるレクリエーションを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・良く考えていただいていると思います。 ・入居者ひとり一人が尊重されていると感じます。 ・グループホームでの活動内容・役割り活動の写真をみると、楽しそうな様子がわかり支援がうまくいっているようで好感が持てる。 ・ご本人にとって寄り添えてもらえている感じがして、とても良いと思います。 ・自宅に1人での時は横になっている時が多かったが、役割活動を積極的に取り組める声かけをしていただき感謝しています。 		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍もあり、以前と同じように活動できないが、車椅子を活用しながら施設周辺の散歩を行っている。少人数で外出している。	<ul style="list-style-type: none"> ・時節柄とても難しかったと思います。その中でもやれる範囲で良くやっていただいていると思います。 ・感染症、職員数、そして季節と要因が多い。入居者、家族の意見を聞きたい。 ・自然災害、感染症などこれからも多くの困難事例が起きた時のための、シュミレーションなど日頃の取り組み、話し合いが大切だと思います。 ・外出は良い刺激にもなりますので積極的に取り入れて頂きたいですが、難しい状況にあることも理解しています。 ・大変な状況でも、諦めずできることに取り組んでいることは素晴らしいと思います。 ・家族との外出が通院以外どこでも可能であれば、本人の体調と意志を確認しながら、希望するところに連れて行きたいと思っています。 		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個人で管理されている方はいないため、不足品があれば、ご家族へ確認し購入している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族への電話など、その都度希望時に対応している。ご家族が家庭内の出来事などがきを送ってこられ楽しみにされている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自分の席と認識してもらい、居室やトイレなど、本人が認識しやすい表記を行っている。環境の変化が生じすぎないように設えなど少しずつ変更している。自分の居場所として感じてもらえるよう席を決めている。季節感のある花や写真などリビングに飾っている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	安全かつできるだけ自立した生活が送れるように動線や物の配置など工夫している。不快や混乱をまねくようなことが起きないように、過ごしやすい、関係性を考慮した環境づくりに努めている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	起床や就寝、食事など一律ではなく、その時の気分に応じたタイミングで暮らしてもらえるよう支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活歴、自宅での過ごし方、習慣など把握し、継続できるよう支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	Dr 診察、歯科回診等、定期的に来てもらえるよう環境を整え、本人の希望を確認しながら随時支援に活かしている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	医師・看護師・管理栄養士・リハビリ専門職等、多職種からの意見をもとに、連携し状況に応じた生活を送れる様支援に努める。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者の習慣、その時の気分に合わせながら、自分のペースで過ごされている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者によるが、本人が使用していたもの(食器、居室に飾る置物、タンス、絵など)を置き、自分の居室であることを感じてもらっている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人が使用していたものや、取り組まれてきた趣味が思い出せる、継続できる居室環境づくり、機会を設けていく。

45		<p>本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍であるため、地域などの行事には参加できないが、随時外への散歩、ドライブ等いける様に配慮している。</p>	<p>・時節柄とても難しかったと思います。その中でもやれる範囲で良くやっていただいていると思います。 ・感染症、職員数、そして季節と要因が多い。入居者、家族の意見を聞きたい。 ・コロナ禍の中の職員の方々の配慮、支援は大変だったと思います。 ・季節の行事があるのは季節を感じることができるのでとても良いと思います。 ・施設のドライブや季節への行事に参加させていただき、満足しているようなので、今後も継続していただきたいです。 ・コロナ禍も落ち着いてきており、季節ごとの外出行事を企画してほしいです。</p>		
46		<p>本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている</p>	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>本人ができないことを、できなくなったと感じないよう、声かけや関わる方法を検討し、できることを継続してもらえよう努めている。</p>			
47		<p>本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている</p>	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>入居者の希望や好みによって把握しながら、その方にあった過ごし方を行っている。役割活動後、感謝の言葉をかけ、達成感を感じてもらえよう支援している。</p>		<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・役割活動を通して会話の機会を増やしなが、達成感を継続して感じてもらえるよう支援していく。</p>
48	<p>本人が持つ力の活用</p>	<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている</p>	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍であるため、地域との交流は現在ない。地域行事など活動を見ることから関われる機会を設けていきたい。</p>	<p>・地域の文化祭に出展、来訪と積極的にとらえていただいていると思います。来年は音楽祭も是非お出でください。 ・感染症、職員数、そして季節と要因が多い。入居者、家族の意見を聞きたい。現状でのボランティアはどのようなものか知りたい。 ・入居者本人が少しずつ交流を楽しめていることが一歩だと思えます。 ・ご本人の出来る事、得意な事を披露できる機会があればいいと思います。 ・もともと、人との関わりが得意ではないため、介護員の方々から声掛けしてもらって交流するくらいでいいようです。近くの保育園や幼稚園の子供たちの訪問も利用者の方には喜ばれると思います。</p>		

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>職員と顔なじみの関係、安心して過ごしてもらえるよう支援している。外出や交流する機会が少ない分、満足度は低い可能性がある。これから何ができるのか、何をしたいのか、楽しんでもらえるのかを把握したうえで、希望に添えるよう努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点などを共有され皆様で気持ちを一つにされ努力されていると思います。 ・三者の話し合いが大事だと思う。 ・すべて満足な支援は難しいと思われます。傾聴し寄り添いの姿勢が大事だと思います。 ・認知症の方の状況は、特に個人によって全く別の対応が必要になってくると考えられるが、限られた人員で効率的に行うことは困難が多いと思います。継続的な改善活動を粘り強くお願いします。 ・利用者おひとりおひとりに寄り添って頂いているのが感じられます。 ・1人1人の心身状況に合わせて対応され、利用者さんの安心や楽しみの確保に務めている様子が伺えました。ありがとうございます。 ・だいぶ GH の生活に慣れてきていて、不安を訴えた時でも介護員の方が寄り添って下さるので、本人も落ち着けるようですし、家族も安心しています。 	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>・グループホームに入居してからも、これまでの暮らしに焦点をあてた支援を心がけ、本人の希望を伺い、役割活動を通しての達成感、できる事の継続につながる支援を行っていく。また、地域との交流、ボランティアの受け入れなど、その時の楽しみ、今後の楽しみとして感じられる機会の提供と、地域とのつながりを大切しながら生活の幅を広げていく。</p>
----	----	---	--	--	---	--	--

(参考様式4)

事業所名 グループホーム沼木敬寿園 なごやか

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 2 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・それぞれの入居者に合わせた役割を持ってもらい、会話の機会を設けながら関わっているが、特定の方のみとなってしまっている現状がある。 ・一人にまかせっきりにならず、職員と一緒に役割活動の拡充が必要。	・入居者ごとに役割や楽しみをもつ機会を設けていく。 ・役割活動中も本人と一緒に会話をしながら関係性を深められる支援をする。	・それぞれの役割や日課、時間で割振り対応できる時間を作り、付き添いながら共に活動していく。	12ヶ月
2	12	・認知症の進行、環境の変化で変わってしまう事があり、入居者は混乱してしまう事もある。認知症に関する理解深め、知識、対応力をあげ柔軟な対応、その場に適した対応をチーム全体で統一したケアで支援する。そのための、行動の観察、誰にとっての問題となるのかすみわけし、対応を随時変更が必要になっている。	・認知症ケアの理解を深め、なぜそのような行動が起きてしまったのか、要因を探り、自分のケア、チームで振り返り、適した対応と継続した対応を行い、入居者が安心して過ごすことができる。	・担当者を中心に現状の把握、どのような対応と声かけが望ましいのか検討し、チーム全体で継続した対応をとりながら、計画、実行、評価を含めた具体的な対応策をおこなっていく。	12ヶ月
3	36	・なじみの場所や、希望に沿った外出、季節を感じてもらおう外出の機会を個別対応で設けていく。	・全入居者がそれぞれの希望を確認し、希望に沿える支援を行う。	・月に1回の行事企画。 ・担当者により、入居者の希望を確認する。 ・気分転換を含め、散歩、ドライブなど春から秋までの計画を立てる。	12ヶ月
4	17	・ご家族と面会以外でも日常についての状況報告はしているが、現状も変化する中で、どのような思いで受け止めているのか、どうあってほしいか、それぞれの家族の希望、本人の思いを感じられる関わりを深めていく必要がある。	・ご家族、入居者と直接話をできる機会を設けていく。	・カンファレンスの参加。 ・こまめな連絡を行い、お互いを知ってもらえる、話せる関係性の構築。	12ヶ月
5	25	・災害を想定した避難訓練など実施しているが、建物内から避難させる状況があった際、ADL、認知症状と様々なケースを想定した全員が移動する訓練が必要。	・職員の役割を明確に迅速に対応できるよう理解を深めた行動に、それぞれの職員が行動に移すことができる。	・GH内での職員の役割、備蓄、避難経路、書類などを把握し、ひとりひとりが行動に移せるのか確認作業を行う。 ・定期的な訓練に特定の職員のみではなく、全職員が参加できる訓練を計画し、実施する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。